

## エントリーシートと適性検査

就活ON!

毎週火曜掲載



適性検査などの対策講座を開く大学もある（昨年12月、専修大で）

す。企業は、採用活動を開始すると、自社や就職情報会社のサイトなどを通じて応募を受け付けます。学生が名前や連絡先を登録すると、ESを提出するよう求められます。就職コンサルタントの坂本章紀さんは、「書類だからと

## 適当に書かず細心の注意

■強調する点決める  
ESは、志望動機や自己PRなどを書き込む応募書類で

いって油断は禁物。ESで応募者の半数以上を門前払いする企業もあり、適当に書いて出すと足をすくわれます」と

注意を促します。

「ESは言ってみれば『ゼ口面接』。目の前に面接官がいるつもりで、真摯に取り

トピックス  
pics

大学3年生の就職活動解禁（3月1日）まで1か月を切りました。就活の初期段階では、エントリーシート（ES）の提出と適性検査の受験が、本格選考に臨むための重要なステップとなります。どんな対策を進めればよいのか、ポイントをまとめました。

（泉田友紀）

## ◆ES・適性検査対策のポイント

（専門家の意見を基に作成）

- 「学生時代に力を入れたこと」「自己PR」など、ESでよく聞かれる質問の答えを、友人や家族に話し、意見を聞く。他人の指摘から、自分の特性が見えてくることがある
- 志望する会社のOB・OGを訪問する。社員から生の情報を聞くことで、ESの「志望動機」のヒントになる
- 市販されている適性検査の例題集を解き、問題の傾向や制限時間に慣れしておく
- 適性検査の数学系の問題は、中学校レベルのものが多く。苦手な人は中学生向けの問題集などで練習しておく
- 大学のキャリアセンターに相談したり、ESや適性検査の対策講座を受講したりする。キャリアセンターでは、志望企業の過去の傾向を把握している場合もある



「ボー・アンド・ベースト」機能を使う学生もいますが、間違いないか、よくチェックする必要があります。応募する企業の数が多くになると、どの会社にESを提出したのか、わからなくなることがあります。手帳などに記録して管理しましょう。

## ■例題集や対策講座

一方、適性検査は、国語や数学、英語などの能力を試したり、本人の行動や考え方や性格を調べたりして、仕事上の適性を診断するテストです。ESの提出後、連絡を受けた学生が、面接の前に受けるのが一般的です。

専門の業者が作成した問題を学生に解かせることが多く、志望する企業によって、問題のタイプが異なることがあります。過去にどの業者のテストが使われたのか、わかる範囲で調べ、例題集を解いたり、大学のキャリアセンターの対策講座などを受講するといひでしょう。

大学などで対策講座の講師を務める山口卓さんは、「3月になると、会社説明会への参加や、ESの作成などで忙しくなる。適性検査の対策は、早めに進めておいてほしい」と呼びかけます。

専修大学で適性検査の対策講座を受講した経済学部3年の女子学生（20）は、「高校時代は数学が得意だったけれど、忘れていた部分もあった。本番までに慣れたい」と話していました。

## はたらく心得



前川孝雄の

「最近の若手は何をを考えているのかわからない」。これは、企業の管理職研修で出てくる典型的な上司の悩みです。

若手社員に言わせれば、「特に意見はない」「考える余裕がない」「目上の人に言いつらい」「否定されて傷つきたくない」など、様々な理由から自己主張を控えたくなるのでしょうか。

気持ちにはわかりますが、社会で求められるのは、自分で考え行動できる人材です。常に上司の指示に従い、言われたことをやるだけでは成長できません。

経験が浅くとも、自分なりに考え、愚痴や批判ではない意見を相手から反応があり、自分への評価がわかります。反応にへこむこともあるでしょうが、これが成長への足掛かりなのです。

## 「指示待ち」にならない

ただし、仕事で意見を持つのは簡単ではありません。まずは、人生においても一日の長のある上司を尊重し、話をしっかりと聴くことです。わからないことがあれば質問し、任された仕事の目的や上司の意図を深く理解するのです。そのうえで、「自分ならどうするだろうか」と考えてみるのです。

最初は難しくとも、常に訓練

していると、少しずつ意見を持てるようになっていきます。将来判断が求められるリーダーになった時に困らないためにも、若いうちから指示待ち人間にならないよう気をつけましょう。

育て上手な上司に出会えるに越したことはありませんが、上司は選べません。成長するには部下の心構えも大切なのです。

(フィールワークス代表)



イラスト・小林早希